

領域:臨床工学部

医療ニーズ:外部モニターの傷を防止するカバー



滋賀医科大学医学部附属病院
SHIGA UNIVERSITY OF MEDICAL SCIENCE HOSPITAL

医療ニーズ提案部門
滋賀医科大学 附属病院 臨床工学部

「簡易なモニターカバー」



臨床工学部

http://www.shiga-med.ac.jp/hospital/doc/department/central_Operation/ce/index.html

■ニーズの背景

- ・病院内では様々な場所で外部モニターが使われている。特に治療や検査中にモニターを見ながら装置を取り回すが、その都度、モニターにぶつかったり、傷がつく危険性がある。
- ・専用のカバーは高価であり、取り換え等にも時間がかかる。

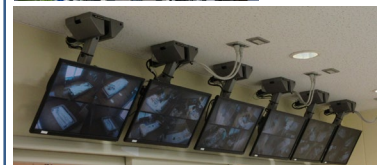
■現在の対応方法

- ・専用のカバーをつけたり、手作りのカバーを付けている。

■使用頻度や市場性(マーケットサイズ)に関する情報

- ・病院内では様々な場所で外部モニターが使われている。従って、いずれの医療機関にもニーズが存在する。
- 【医療機関数:約18万院(医療施設動態調査平成30年2月末概数:厚生労働省HP)】

【イメージ・参考例】現状の状況(モニターむき出し)



機能アイデア例

- ・外付けが可能な機能
- ・カバー自体が壊れても、モニターが保護できる機能(材質と形状)
- ・カバー自体がしっかりとモニターに装着でき落下したりしない機能

お問合せ先

滋賀医科大学 研究推進課 産学連携係

電話: 077-548-2847

メール: hqsangaku@belle.shiga-med.ac.jp